



令和2年9月9日

第3号

こども青少年局 保育・教育人材課 幼保小連携担当

「幼保小連携だより」

育ちと学びをつなぐ

保育士・教職員の学びの場の保障を

～令和2年度「幼保小接続期研修会」動画配信の研修より～

幼保小連携だより第1号でお伝えしました、オンライン会議システムを利用して実施した「幼保小接続期研修会」（池上小学校公開授業研究会の代替研修）では、eラーニングの研修に加え、今年度新しく開設した、こども青少年保育・教育人材課 YouTube 公式チャンネル「保育・教育の質向上」での動画配信の研修となりました。公開期間中、eラーニング研修には、延べ206名の方にアクセスしていただき、今年度開設したこども青少年保育・教育人材課 YouTube 公式チャンネルには、228名の方に申し込まれ、合計434名の方に視聴していただきました。ありがとうございました。

今年度公式チャンネルを開設!

【こども青少年局保育・教育人材課 YouTube 公式チャンネル視聴回数】

6月の学校再開後、各学校では、感染拡大防止や子どもたちの心のケアを図り、様々な工夫をしながらスタートカリキュ

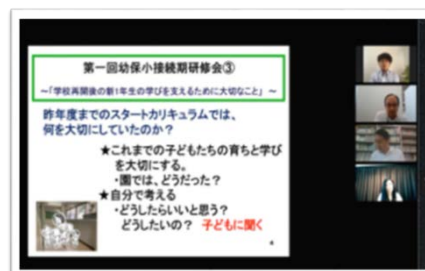
こども青少年局保育・教育人材課 YouTube 公式チャンネル	視聴回数
(1) 子どもたちへの心のケアで留意したいこと	658
(2) 教職員への安心感につながる具体的な実践の紹介	365
(3) 新一年生の学びを支えるために大切なこと	344

ラムに取り組みましたことと思います。1年生の子どもたちにとっては、幼児期における遊びを通した総合的な学びから、様々な教科等と合科・関連を図ることで、教科特有の学び方、見方・考え方を身に付ける大切な時期です。小学校では、夏季休業後も一定の期間、スタートカリキュラムの考え方を取り入れた授業を行い、主体的に学びに向かう力を大切に育てていらっしゃると思います。

一部ですが、受講者のアンケートをご紹介します。

【eラーニングの受講者のアンケートより】

- 基本的には本校で大切にしていることと重なっており、自信をもって取り組みを進められると思いました。ありがとうございました。（小学校/管理職）
- 中学校の現場でも活かせるような事例があったと思います。先生方へ還元できればと思います。若手の先生方のやる気を感じられ、頼もしく思いました。本校でも若手がチャレンジできるような環境づくりに努めたいです。講師の先生方もお忙しい中お話をしていただきありがとうございました。（中学校/管理職）
- 具体的実践例も交え、わかりやすい話でした。一年生はもちろん他学年にもあてはまる話もありました。子供達の心を大切に自分の学校で出来ることを考え実践していきます。（小学校/教諭）
- 理論と実践がうまく統合されていて、かつ、現状も踏まえているので、大変参考になりました。ありがとうございました。（小学校/教諭）



- 休校明けの一年生への指導で大切にしたいことや、昨年度の実践の様子を知ることができ、自校でどのようにスタートカリを進めていけばよいのか検討する材料になりとても良かったです。ありがとうございました。（小学校/教諭）
- どんな場面でも、子どもの視点に立つことや気持ちに寄り添うことで児童が安心した環境、焦らずにスモールステップで充足感を持てる授業や指導支援を行いたいと意識することができた。（特別支援学校/教諭）

【保育・教育人材課 YouTube 公式チャンネルの受講者のアンケートより】

- スタートカリキュラムについて、実際に1年の担任と講師の方から意見を聞くことができ大変勉強になった。小学校に伺う機会がない中、実際の事例（子どもの姿とその対応）、活動の取り入れ方や大切にしていることを具体的に聞くことができ、学力をつけることだけではない小学校の様子を知ることができる良い機会だった。（こども園/教諭）
- 保育でも大切にしている「子どもが自分で考え、行動する」ということが小学校でも大事だということを改めて確認できた。また、スタートカリキュラム内の「困った子ではなく、困っている子と考える」という言葉に考えさせられた。常に子どもの行動には意味があると考えながら保育をしていきたい。（保育園/保育士）
- 一人ひとりの子どもの違いや思いを受け止めていること、育ちと学びを大切に自分で考えられるよう関わっていることがよく分かった。一人ひとりに応じた支援の共有など幼保小連携の大切さを感じた。（保育園/保育士）
- 年長の担任として就学後の子どもたちの育ちを考慮して保育をしていくことが大切だと思った。「価値ある体験」を大人主導ではなく子どもの意見や考えを取り入れていけるように遊びや環境を整えていきたい。（保育園/保育士）
- コロナ禍により不安を抱えている子どもたちもいるなかで、家庭以外で安心できる場所や、存在になることが教師としての役割として、より大切なのだと思った。
(幼稚園/教諭)
- 先が見えず不安なのは、子どもも教師も保育士も同じ。「時間、場所、人間関係に見通しをもつことで学び合う生活が充実してくる」というコメントに勇気づけられた。幼保小の推進地区の3年目だが今年度は難しそうだが、しかし、小学校の先生方の丁寧な取組を聞き、園もしっかりと土台を作っていかなければと改めて取組を考えさせられた。
(保育園/管理職)



- 7月から登園が始まり自粛のため家庭で過ごす時間が長かった分、進級の喜びや実感を味わうことなく年長児としての生活が始まった子どもには、戸惑いや他児との差が表れていた。研修を通し、焦らずゆっくりとその子に合わせて関わり、まずは担任との信頼関係や周りの友達との時間を充実させ、安心な居場所づくりをすることの大切さを改めて感じた。（保育園/保育士）


アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

アンケートの中に、動画配信の研修だと、もっと理解したかったり、もう一度聞きたかったりするところを何度でも再生できる、自分の都合がよい時間帯に合わせて受講することができるという感想も複数あり、動画配信の研修ならではのメリットをこちらも感じることができました。また、スタートカリキュラムを中心にその理念を柱に、今年度の現状を踏まえてどのように進めたらよいか、具体例を通して発信させていただきましたが、園や保育所の先生方からは、小学校の様子や取り組み、考え方が分かり参考になったと前向きな感想を寄せていただきました。今後も工夫しながら様々な形で研修の機会をつくっていきたいと思います。引き続き、各園、各学校において幼保小の円滑な接続を継続していただけたらと思います。

最後になりますが、今回の代替研修を実施するにあたり、講師である國學院大學の田村学先生、吉永安里先生、池上小学校の寶來生志子校長先生をはじめ教職員の皆様、多大なるご協力をいただき、本当にありがとうございました。

今後も、保育・教育人材課での研修については、状況に応じて、横浜市内の保育・教育施設の保育士や教職員も受講ができるように、こども青少年保育・教育人材課 YouTube 公式チャンネル「保育・教育の質向上」でも限定公開をしていくことを考えております。案内につきましては、学校便利帳（小学校側）や横浜市のWEBページでご確認ください。

次の研修のご案内です。

研修名	第2回 幼保小接続期研修会 こども青少年保育・教育人材課 YouTube 公式チャンネル 「保育・教育の質向上」による実施
内容	1 実践報告「『つなぐ』を大切にしたスタートカリキュラム」 （第1回接続期研修会 公開授業研究会 代替研修として） 提案 鶴見小学校 阿藤育美教諭 篠原慧子教諭 高林宏成教諭 早川洋一教諭 野坂優教諭 満島佳奈教諭 講師 元文部科学省初等中等教育局主任視学官 嶋野 道弘 氏 2 講演 演題 「接続期の子どもの支援をつなぐために」 講師 玉川大学 乳幼児発達学科 教授 若月芳浩 氏
申込み方法	◆申込み方法 「横浜市電子申請システム」による申し込み 下記のリンク先「横浜市電子申請システム」による当研修の申込フォームにアクセスしてください。(QRコードも有効です) <div data-bbox="981 1780 1300 1892" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">このQRコードを読み取ると、直接申込フォームに入れます。</div>  https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?id=1599443088586 ◆申込締切日 令和2年12月14日（月） ◆問い合わせ こども青少年局保育・教育人材課 幼保小連携担当 ☎671-3731